



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

資料 5

国際資本市場協会（ICMA）とのコンファレンスについて

2021年9月
日本証券業協会



1. コンファレンスの概要



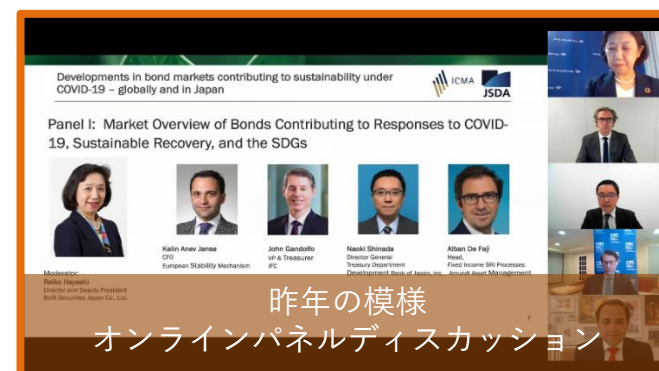
本協会では、グリーンボンド市場等の動向について日本市場関係者の理解を深め、日本市場の課題等を探る機会として、国際資本市場協会（ICMA）との共催で、2017年より、毎年、グリーンボンドコンファレンスを開催している。本年度は、脱炭素社会への達成に向けた「脱炭素社会への移行」及び「社会的課題の解決」に焦点を当てたコンファレンスを実会場での開催に加え、オンラインでも参加可能とするハイブリッド方式により開催する。 ※新型コロナウイルス感染症が更に拡大し、ハイブリッド開催が許されない場合には、オンラインのみの開催とする。

日程	2021年11月12日（金）16時00分～18時00分（予定）（日本時間）
タイトル	いかに日本の債券市場が持続可能な社会に貢献できるか －脱炭素社会への移行と社会的課題の解決－（仮）
会場	太陽生命日本橋ビル 26階 及び ZOOMによるウェビナー
共催	国際資本市場協会（ICMA）※
参加費	無料
参加申込み	ICMAウェブサイトより申込み （近日中にウェブサイトを公開予定）
参加者	発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関等を想定 実会場参加者：ソーシャルディスタンスを考慮し最大120名の座席を用意 オンライン参加者：最大10,000人迄参加可能（ZOOMの機能に準拠）

※ICMAは欧州を中心に世界約60カ国500の金融機関が加盟する国際団体。本拠地はチューリヒ及びロンドン。スイス及び英国当局から自主規制機関と認められている。本協会との間で2008年1月、相互協力に関する覚書（MoU）を締結し、これまでに5回、日本証券サミット（いずれもロンドンで開催）を共催した（2008、2013、2015、2017、2019年）。

2. プログラム（現時点予定）

16:00	歓迎・開会の挨拶 日本証券業協会 会長 森田 敏夫
16:05	ゲストスピーチ 1 （日証協側で依頼）
16:15	ゲストスピーチ 2 （ICMA側で依頼）
16:25	パネル 1: 脱炭素社会への移行に係る貢献（仮）
17:10	パネル 2: 社会的課題の解決に係る貢献（仮）
17:55	閉会挨拶 国際資本市場協会（ICMA） チーフ・エグゼクティブ ブライアン パスコー
18:00	閉会



【参考】これまでの開催

【2017年】



“グリーンbond及び社会貢献債市場の発展-アジアの展望”

日 時：2017年11月2日（木）

場 所：虎ノ門ヒルズ森タワー5Fホール

参加者：アジアの発行会社、銀行、証券会社、（機関）投資家、その他の関係機関、
報道機関等 約400名

【2018年】



“グリーンbond及びソーシャルbond市場の発展-アジアの展望”

日 時：2018年12月11日（火）

場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約550名（昨年比約40%増）

【2019年】



“日本とアジアのグリーン、ソーシャル及びサステナビリティbond市場の発展”

日 時：2019年10月9日（水）

場 所：ホテル ニューオータニ 鶴の間

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、
在日大使館職員、その他の関係機関、報道機関等 約700名（前年比約30%増）

【2020年】



“コロナ禍において重要性を増す持続可能性に貢献する債券市場の発展－世界及び日本の展望”

日 時：2020年11月13日（金）

場 所：太陽生命日本橋ビル 26階 及び ZOOMによるウェビナー

参加者：日本を中心とするアジアの発行体、銀行、証券会社、（機関）投資家、在日大使館職員、
その他の関係機関、報道機関等 約500名（うち430名オンライン）（前年比約30%減）